

●上陽町も参加し、2市6町に

合併のメリットは掛け算の発想を！

～任意協議会第2回会議を開催～

久留米広域合併任意協議会第2回会議が8月7日、久留米市内で開催されました。同会議では、最初に8月2日に上陽町の牛嶋剛町長から白石勝洋会長に申し入れのあった同町の加入につ

いて協議、全会一致で加入を承認しました。その後、今後の任意協議会のスケジュール、新市まちづくり構想策定基本方針、事務事業現況調査方針について協議しました。



▲新市まちづくり構想、住民への情報提供などについて活発な意見が交わされた任意協議会第2回会議

◀長崎地域任意合併協議会についてリーフレット等を活用し、分かりやすく説明された同事務局の小川泉主幹（左）と出田哲朗総務理事



スケジュールについては、「10月の新市まちづくり構想策定から法定協議会への移行までの時間が2か月と短い。住民がじっくり判断できるよう、期間を延ばせないものか」「2つの協議会に参加している。お互いのメリット、デメリットを比較できるような書写真を描いてほしい」等の意見が出されました。

2か月間の期間については、「法定合併協議会で調整する膨大な数の事務事業や国・県への合併申請など考えると、このスケジュールになる。できる限り早く住民に情報を提供することに全力を傾けること」で承認されました。

また、新市まちづくり構想については、「合併のメリットは単なる足し算ではなく、掛け算になるような発想を」との意見が出されました。

長崎地域任意合併協議会視察

8月7日、任意協議会第2回会議終了後、長崎地域任意合併協議会との意見交換会を長崎市で実施。意見交換会には、委員25人が参加しました。

10月に法定合併協議会への移行を予定している同協議会事務局の小川泉主幹は、「任意協議会では、合併の枠組みも確定していないので具体的な新市の都市像も描きにくい。法定協議会で合併の枠組みがはっきりすれば、具体的な数字も出していける。一日も早く法定協議会へ移行し、電算システム統合のための予算措置や住民負担部分などの協議を進めたい」と説明されました。

任意協議会の委員

上陽町の任意協議会委員の皆さんは次のとおりです。なお、八女市と広川町の委員さんも決まりましたのでお知らせします。（敬称略）

【上陽町】

牛嶋 剛 町長（副会長）

小川 健之 町議会代表

松崎 光行 住民代表

上野 重人 住民代表

高田 日出雄 住民代表

【八女市】

今里 卓爾 住民代表

【広川町】

小林 昭洋 住民代表

◆上陽町を紹介します

牛嶋剛上陽町長は第2回任意協議会の中で、「2市5町の皆さんとともに県南地域の将来について考えたい。今後もよろしく願います」と参加のあいさつをしました。

上陽町は、人口4,223人（平成12年10月1日国勢調査）、町域59.32平方キロ。特産品は、お茶、椎茸。

星野川にかかる一連から四連の石橋は県内でも有数で、特に洗玉橋は県内最大のアーチを誇る石橋です。



星野川に美しく映える四連橋（上）と今年3月に完成した久留米市と上陽町をつなぐ朧（おぼろ）大橋